基本情報	A (A	チーム)	グループ			施策名					
参加者	行政	中村英樹、山下英 細田茉希、		基本目標	1	地	域で育る	むひとづく	: IJ		
参加 名	町民	家田倫子、	山下茂	基本施策	1-4	個性	を活かっ	す障がい者	首福祉		
施策情報											
町民目線からの 見た現状と課題	に集えるカ 齢の方には	いのある方、認知症 フェのような場所を 必要とされたり居場 気の出る場所、そし	作りたい。子ど [、] 所の1つとなった	もや若い世代には :りする。今は「i	:多様性を学 <i>.</i> こころの時代	ぶ機会で、障が t」豊かさは心の	いのあ	る方や高的	命者、生产	産年	
予算(事業)名	障害者	総合支援事業費	障害者	援護事業費 障害者医療費					その他		
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の良い 点	材確保のため た。 ・ 障がい者計	ス事業所の人材育成・人 の研修や啓発を実施し 画等について、障がい者 踏まえ分析・評価を行っ	交通費の助成を がいを持ったフ 寄与した。	当の支給、障害者 を適切に行い、障 ちの経済的援護に	し、障がい 安心に寄与	₹費自己負担額₹ Nのある方の生況 Fした。					
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の問題 点		用者が増加する中 サービスを提供でき 少ない。	て差が生じている 難しい。	で、近隣町と比較し が、財政的に増額が なに利用する方は助成がかかる。	格があって	負担医療制度の₹ 〔も使用されない 「の財政負担が輔 い。	ハこと				
		評価約	吉果・グループ	プワーク(意見	交換)の意	意見					
	合計	2 点	(内訳)	予算 事業 1	点	管理 指標 1	点	地域と の協働	0	点	
総合評価	ii	一部努力を要する	るが概ね順調	(摘要)		(摘要)		(摘要)			

基本情報	F (A	チーム)	グループ				施:	策名					
参加者	行政	百合草文哉、那須ス 榊原康広、村		基本[目標	2		地元をに	ぎわ	すしごと	づくり		
参加 名	町民	家田倫子、	山下茂	基本加	拖策	2-7		偅	かく環	境づくり			
施策情報													
町民目線からの 見た現状と課題	〇衰退して などに予算	整備こそ、町内雇用 いることに資金を使 を重点的に早急に準 の職員のデジタル化 したい。	うより、今はも 備してほしい。										
予算(事業)名								漁港改良整備事業費その他					
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の良い 点	りメンタル 洗出し、産	ストレスチェックの実施等によりメンタル不調の職員を早期に 洗出し、産業医面談につなげる・農業用施設の維持管理・機能 にとができた。・農業用施設の維持管理・機能 向上に寄与し農産物の安定生産、出荷に貢献した。											
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の問題 点	職員がいる	て時間外勤務を行う ため、時間外勤務を する必要がある。	年々老朽化が近施設は、今後値が見込まれる。 先順位をつける	§繕事業費 ことから補	の増大 修の優	補助事業の 工事及び 難な維持 多くなっ	補助事業 補修事業	として採扱	困				
		評価約	詰果・グループ	プワーク	(意見:	交換)の	意見						
	合計	2 点	(内訳)	予算 事業	1	点	管理 指標	1	点	地域と の協働	0	点	
総合評価	ii	一部努力を要すん	るが概ね順調	(摘要) インフ	う整備に	は重要	(摘要) 前年と	概ね横ばし	, \	(摘要) 関係機関が 住民へのほ			

基本情報	в (в	チーム)	*) グループ か												
参加者	行政	大﨑沙久実、鈴木 松本伸弘、		基本	目標	1		地垣	せで育 す	むひとづく	(1)				
参加 相	町民	須賀萌乃、 大松展子、		基本	拖策	1-2		次代の	担い手	を育む教	育環境				
施策情報															
町民目線からの 見た現状と課題	た現状と課題 ●地元に就職しやすいように職場体験をもっと行ってはどうか。														
予算(事業)名	教育排	教育振興一般管理費 小中学校の一般管理費									その他				
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の良い 点	事業を実施 ICT教育の充	各学校への適正な委託及び補助 事業を実施しました。 ICT教育の充実のため、AIドリ ルの導入等を行いました。													
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の問題 点	とがよいが なくなり淋 た。 タブレット	ラス替えができるこ 、地域は子供の声が しくなってしまっ 端末を導入している も進めてほしい。	増加傾向にありないため危険値なってしまうこ	りますが、 箇所の対応	財源が が遅く										
		評価部	結果・グループ	プワーク	(意見2	交換)の	意見								
	合計	4 点	(内訳)	予算 事業	2	点	管理 指標	2	点	地域と の協働	0	点			
総合評価	ii	一部努力を要す	るが概ね順調	(摘要)			(摘要)			(摘要)					

基本情報	c (c	チーム)	グループ			施策名					
参加者	行政	石黒欽也、内田優 間瀬桂輔、坂		基本目標	3	安心	できるまちづく	()			
多加 名	町民	内田智美、	石橋伊鶴	基本施策	3–5	暮らしを	を支える地域公	共交通			
施策情報											
町民目線からの 見た現状と課題	た現状と課題 〇小型バスにして本数を増やしてほしい。										
予算(事業)名	公共3	泛通対策事業費	離島	- 振興費		その他					
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の良い 点	不可欠な移	は住民にとって必要 動手段であるため、 行していくべきもの	島民への割引券	かもしれないが、 学配布など、離島 域に努めている。		を合により、土日の スクールバスで対)。	· ·				
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の問題 点		ーズに対応しきれて 、利用者の声を事業 てほしい。		として、より手厚	応が困難で	があるため、海っ子 もした通学方法を模	子バ				
		評価領	結果・グループ	プワーク(意見:	交換)の意	意見					
	合計	4 点	(内訳)	予算事業 2	点	管理 指標 1	点 地域と の協働	1 点			
総合評価	ii	一部努力を要す	るが概ね順調	(摘要)	((摘要)	(摘要)				

基本情報	G (C	チーム)	グループ			施策名		
参加者	行政	戸田竹彦、堤田健 片岡克紀、伊		基本目標	3	安心で	きるまちづくり	
多加 名	町民	内田智美、花	5橋伊鶴	基本施策	3–3	資源を	舌かす土地利用	
施策情報								
町民目線からの 見た現状と課題	・所有者不 ・移住者向 ・土地と建	活用に関する支援制別の空き家や空き地の賃貸物件の確保物の有効活用(空き)なるまちづくりの実施	への対応 家の予防や維持	管理、公共施設の	民間利用なる	ど))	
予算(事業)名	空》	家等対策事業	都市計画	一般管理費	その他			
主な予算事業 (実施計画・事	を実施して を軽減でき 家の活用に	の除却に関する補助 おり、所有者の負担 ている。また、空き ついても空き家バン り促進している。	II.	刊用を目指し、景 こ向け事業を実施	活用するた 本方針の策	こした公共施設を有效 こめ、公有財産利用基 設定及び運用により、 (旧師崎保育所)を「 こ。	<u> </u>	
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の問題 点	みが乏しい。 物件掲載数 る。建築学	活用を促進する仕組。ホームページ上の も少なく魅力に欠け 生と連携した魅力の しい取組が必要。	進する上での、		めに情報を	D利活用を推進するだ C公開するとともに、 S定められた規制への E。		
		評価約	ま果・グループ	プワーク(意見)	交換)の意	意見		
	合計	3 点	(内訳)	予算 事業 1	点	管理 1 点	地域と 1 の協働	点
総合評価	ii	一部努力を要する	るが概ね順調	(摘要) 空き家の活用支援 て、所有者と利用 した改善策が必要。	こつい 削 者に配慮 に	(摘要) 減された予算が改善領 使われず、他の事業 とてられている。) o

基本情報	D (D	チーム)	グループ			施策名						
参加者	行政		冷木誠、石橋暁登 汝、吉原裕人	基本目標	2	地元をにぎ	わすしごとづくり					
沙加 伯	町民	坂野豊和	、鈴木ひとみ	基本施策	2–1	豊かな海と産	物を活かした水産業					
施策情報												
町民目線からの 見た現状と課題	た現状と課題 ・最近の漁業不振は温暖化に一因があり、今のうちに獲れるだけ獲る漁法では町はつぶれる。温暖化の原因調査など水産試験場の協力なども得て											
予算(事業)名	漁業技	漁業振興対策事業費 栽培漁業振興対策事業費										
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の良い 点	ついては県、各流行うなど後継者、た。 事業指標の一つで	規就業者に対する家賃補助や、就業相談等にいては県、各漁協と調整を図り、随時対応を対など後継者、新規就業者の確保支援ができまれてある「1人当たりの漁業所はいては、実績値集計中により現在評価はいては、実績値集計中により現在										
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の問題 点	た漁業施設の修繕、 海域環境の変化に伴 業生産に影響を及ぼ	財源不足等の理由により、 更新が計画通りに進まない:う栄養塩不足や食害などに している。 漁業者、経営体数が減少し	。 より、漁 <mark>源が減少してし</mark>	化により、水産資 いる。								
		評	·価結果・グルー [·]	プワーク(意見	交換)の頽	意見						
	合計	5	点 (内訳)	予算 事業 2	点	管理 指標 2 点	地域と 1 点					
総合評価	iii	概	ね順調	(摘要) 漁協要望を受けた事業 るが、さらに町からの 者の成長のための事業 どうか。	は評価でき)提案で漁業 数	(摘要) 女字での評価がわかりに (い。	(摘要) 漁業者のイメージや食に対するイメージを中学生に教育するための出前講座を引き続き 実施してはどうか。					

基本情報	E (D	チーム)	グループ			施策名	
参加者	行政		伊藤友規美、 宝圭志、奥村卓矢	基本目標	2	地元をにぎれ	っすしごとづくり
参加省	町民	坂野豊和、	鈴木ひとみ	基本施策	2-6	価値ある産業を	そ残す事業承継支援
施策情報							
町民目線から見 た現状と課題	こに大して ②不漁渦の ③基本施策	予算は割かれない 水産業及び地場産 2-3、2-6で提案。		り発展は厳しいと	思う。		もいいのではないか。そ
予算(事業)名		業振興事業費 工会補助金)		類事業費 與補助金)		資源保全事業費 施設維持管理費)	その他
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の良い 点	価格の高騰な 化により相談 るが、3商工	ど目まぐるしい情勢(件数の高止まりが見 会による町内事業者 により経営の安定化:	資源 GOGO三河湾協議会 の変 カードの配架及び られ ス、町観光協会が への や宣伝等によって を図 据えた観光振興に	「関西地方へのセール 「行う様々なイベント 「アフターコロナを見	光センター 等、町内に	光センターや内海観 ・、富士ヶ根公衆便所 ・ある観光施設の適正 ・理に努めることがで	
主な予算事業 (実施計画・事 業評価)の問題 点	う必要があり 会職員などの		商工 等について、印刷 め、	川に係る経費が増加し	施設の老朽化	:ンターを始めとする観光:のよる修繕費の増加や財 :のよる修繕費の増加や財 者の減少が拡大していま	
		評化	西結果・グルー∵	プワーク(意見)	交換)の意	想	
	合計	5	点 (内訳)	予算事業 2		管理 指標 2 点	地域と 1 点の協働
総合評価	iii	概ね	順調	(摘要) いろいろな施策を行ることはわかるが終 ていないと感じる。	テってい 地 吉果が出 の	摘要) 元で頑張っている人へ プラスを感じない。	(摘要) 商工会と連携し、事業承継の窓口を拡充してほしい。

	匀	第7次南知多田	丁総合計画	評価委員	会 !	ブルーこ	プワーク	フまと	め			
基本情報		W	グループ				施	策名				
参加者	行政	宮地利佳、山本剛 奥川広康、山本剛		基本	施策	4–1		職員	の成:	長とやりか	べい	
参加 有	町民	太田彰、内田美里	、宮本邦彦		業務改著 推進事項			挑単	ぱでき	る組織づく	(1)	
施策情報												
行財政マネジメ ントにおける現 状と課題	・官民連携事業の・グループ制への・研修内容の精査・本町が持続して推進していく必要	記に対応するため、官民連打 D経験値やノウハウを全庁的 D移行にあたって人事評価報 配とミスマッチの解消や研修 こいくための施策や事業を1 更がある。 D時間外勤務は生産性・効率	りに共有し、横断的に創出 制度の見直しが必要である 多成果の検証を定期的に行 全画・実行していくには、	する仕組みの? 。 い、必要な改む 人材の確保、/	善点の把握が 成長、意欲、:	必要である。 挑戦が必要と						
業務改善 推進項目	民間活	力の活用の推進)意識改革 力の向上			労働環境	の整備		その他		
業務改善の取組の良い点	民間の知識、 できる。 ・自治体のコ	推進することによって ノウハウを活かすこと スト縮減、人手不足の 域課題解決につながる	:が 入により、職員の流できた。 職員研修についても	満足度を向上 も、前年度に 員意識の向上	することが 比べ幅広い	ことにより. が向上した。 ・職員個々の	、制度を利用 。 の働き方に台	月した職員の 合わせた時間)満足度 間割りが			
業務改善の取組 の問題点	スの低下や利用・官民連携事業	って営利目的になりサー 対の値上げにならないが を全庁横断的に取り入れ 仕組みづくりが重要	か。┃移行にあたって見圓	直しや、多面 か、持続的に 研修について	評価に対す 制度改善が は、定期的	いくために 土醸成、上 り、より多	は、休暇を取 司や同僚職員 くの職員がこ 、横断的協力	対得しやすい 員の理解が必 フレックスを 対体制の構築	℩ 職場風 必要とな E利用す			
評価結果・グ	ループワー	-ク(意見交換)	の意見									
	合計	7	(内訳)	予算 事業	3	点	業務 改善	3	点	マネジメント	1	点
総合評価	iii	 概ね 	順調	(摘要)			(摘要)			(摘要)		

	9	第7次南知多	町総合計画 詰	平価委員	会	ブルーこ	プワーク) まと	め			
基本情報		X	グループ				施	策名				
参加者	行政	坂口増和、田中 坂本有二、田中	直之、富田和彦 達也	基本	施策	4–2		業務	多の高	度化、効≖	率化	
参加祖 	町民	鈴木甚八、山下	かず代		業務改 推進事			デジ	タル化	と・D X の	推進	
施策情報												
行財政マネジメ ントにおける現 状と課題	・テレワークに対 ・財務会計事務へ ・各課室があいた	がした共有体制の構築の へのRPAの導入に向けた研 の電子申請システムを活り	題解決能力が向上し業務改善Iのため、これまで一部事務に「F究に取り組んでいるが、導入用し、各種申請をWEBで手続きデジタル化により、ペーパー」	電子決裁を導んの可否につい ができるよう	入したがテレ ハて費用対効果 6各課室で取り	ワークの実績 具や職員の意見 J組んでいるか	が少ない。 見を聞いて進め 、住民への履	かていってほり 別知が出来てい	しい。 いない。			刀であ
業務改善 推進項目	政策•	政策・調整機能の強化 行政のスリム化・事務の効率化 行政情報のデジタル化 その他										
業務改善の取組の良い点	課題解決能力	ニ携わることで職員 コが向上し、全庁的 ヌり組むことで組終 ニつながる。	りに より、自宅のパ	ソコンなと 住民サーb	どから届 ごスの向	ごから届 │用紙等の印刷経費削減につながる │ては様々な活用がで ごスの向 │とともに、紙類の廃棄量も縮減で │ので、さらなる活用					できる 用方法	
業務改善の取組 の問題点		結果を評価する仕組 銭員がその効果を♯ 必要である。				町民には7 るメリッ タル化の も広く周9	トがわかり	リにくい。 見を広報紙	デジ 等で			
評価結果・グ	ループワー	-ク(意見交換	ュ !)の意見									
	合計	6	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	3	点	マネジメント	1	点
総合評価	iii	概才	a順調	(摘要)			(摘要)			(摘要)		

	匀	第7次南知多町	「総合計画	評価委員	会	グルーこ	プワーク)まと	め			
基本情報		Υ	グループ				施	策名				
参加者	行政	石黒俊光、大久保 鈴木和芳、森崇史	美保	基本	施策	4–3		Ш	丁民の	満足度向」	Ł	
参加祖 	町民	原一雄、山川律子			業務改 推進事			公共的	 色設•	サービスの	り再編	
施策情報												
行財政マネジメ ントにおける現 状と課題		を抑制し、地域社会 ことも重要。	€を持続可能なも	のとする	ためには、	、町民が生	生活に満見	足するこの	とが必	要であり、	、それが	町外
業務改善 推進項目	公共	施設等の再編	施策・第	養務の見 直	[L	住民	のための	ための体制づくり そ				
業務改善の取組の良い点	公共施設の利 題点として指	配置について) 活用の点で、昨年度の 摘した旧師崎保育所が 良いと思います。								行けい。者のは、まない、まない、まない。まない。特別のは、まない。まない。特別のに、おいい、は、まない、は、まない、は、は、ない、は、は、ない、は、ない、は、ない、は	う実感がた 画書と施 業がリン 、わかり 配置計画	わかまり かかま かか かか で かか で かい で かい
業務改善の取組 の問題点	廃校した大井 減する方法は 利用を検討し	配置について) 小学校の維持管理費を ないか、また施設の有 てほしい。サービスセ ついて、廃止してほし	効 事を、さまざまた ン 事の発信が知って	ライターの な手段で町タ	トの人に記	グループ制 ないとむす	がしい。	なの意識が 引度を変え 事が偏って	るだけ しま	れていない		
評価結果・グ	ループワー	-ク(意見交換)	の意見									
	合計	5	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	2	点	マネジメント	1	点
総合評価	iii	 概ね。	順調	(摘要)			(摘要)			(摘要)		

	9	第7次南知多町	総合計画	評価委員	会	グルーこ	プワー	クまと	め			
基本情報		Z	グループ				施	策名				
参加者	行政	山本有里、内田純慈 山下哲矢、山下忠仁		基本	施策	4-4		持約	売可能	な行財政選	重営	
	町民	大岩徳夫、榊原英治	ì、秦由岐穂		業務改 推進事			持続口	可能な	財政基盤の	の構築	
施策情報												
行財政マネジメ ントにおける現 状と課題	歳出の抑制 ・専門部署を	Nとりが行政コストに; 別だけでなく歳入に対∵ 記置し、ふるさと納; は地域づくりのために.	する意識改革も必 悦寄付額増加を目	要。 指している	るが、全国	の地方公					ーズへの理	里解を
業務改善 推進項目	方	歳出の抑制	歳入の	確保・充憲	実	効果的	・効率的	な行財政	運営		その他	
業務改善の取組 の良い点		導入など、DXで歳 取り組んでいる。	「みなみちた」 ンド力がある。 だ伸びる。体験 も伸びると思う ダーが必要だと	ふるさとん 型と合致し 。(だだし	_め 税はま したもの	のは良い	ことであ	!を取り入 oる。 (も oている。	う次	職員の意の意識では、が毎のまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	はないか。 にいるのでし し過ぎでし はないか。 に施策の管理	住民では発展を指標
業務改善の取組 の問題点	· ·	Xの推進について 効果の検証も必要。	歳出のコスト! けでなく、歳, 必要ではない!	入の創出の		り必要。 要)	(住民の意 言をクイッ	人口の増が 意識改革も ックに行動	必	説明がある なりになっ	が、分析な	がおざ
評価結果・グ	ループワー	-ク(意見交換)	 の意見									
	合計	4	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	1	点	マネジメント	1	点
総合評価	ii	一部努力を 概ね』		てはいけな	果に満足し [*] い。絶えずǎ うにして欲「	欠のステッ				(摘要) 色々なアイ 手を育てる		